



~13  
1984  
19





1984/9  
19

櫻川慈悲成作

おぼ  
ほふ志  
者と女お獲ま喜き言げ序ん

文政七年  
甲申孟春  
文壽堂壽櫻

落おち嘶ひび屑こ獲と喜き言げ序ん



かか々々先生せんせい何なにををおお母はは後ご

云いハハ多たくく云い唐たうはは日本にっぽんののまままま

夜よ楽らく乃の兼けん題だい文ぶん車ぐるま糸いと

似おたるた箱な火ひ鉢わちのの列ひ女に只ただ款くわん仙せん

歩あんん履ふひひああるるままのの詩し百ひゃくへへんん

























三多とまろ  
 幾聲乎  
 飛駕  
 東廠北  
 借船  
 入堀  
 聖天西  
 蜀山人

蜀山人



























まひ神とやのひなまふちのよ。かゞびく〜トまのこ。エ  
中かるとまき。門足より〜とあや神押。〜  
あやうら。まは。〜  
とんだ居ん。極〜言〜  
なま〜  
神ハ出〜  
是かアぞん。今〜  
めふ人の〜

かたて。今か〜  
是か〜  
〜  
あひたり。今ふ福の神〜  
びんぢう神ハ虫のま〜  
終向〜  
あふ。是ハ〜  
あげ。ち〜

五

四



































おひたる。家傳名方の万葉丸薬種さるあぐへ中めも得  
がくまの二三味。一味ハ蚯蚓の胴背女麻のきんたま  
重んずる泥亀の生膽をまろく。製法一たる万葉丸  
二三種を湯よそめあぐる。口をさるやうあぐ。  
拍ひ先さ瓜うまるとかの積つの虫むかかららふふかかるる。そそるるは  
積つの虫むががままんん教くををくく。びびろろくくととそそののふふ人に引ひここむ。  
ああるるはは是こ探た川が甚た孝かがが積つの虫むのの牙がががりりめめももままわわるる  
め。ああるるはは美みののままままんんたたるるまででかかんんぞぞののううかかひひが

ああののびびふふささららぶぶ血け脈ちううののくくししととああののしし葉は一一と  
一一回回ふふ入入。ああのの瓜うははくくひひろろくくわわららぶぶ。拍ひ姫ひめめハハららと  
かからら一一丸丸血け丸丸ををくく。川が井い他た居いとと中ちううよよめめをを世よ作して  
たたののららままかかつつここうう種たかかららああぐぐ。ああももああぐぐ。ささんん以い  
そそののああいいよよひひかかううああぐぐ。たたかかののああぐぐたたののむむくくと  
ありあるるにに他た居いちちををららとと下さ下さググてて。ああららあありりががららん  
血け丸丸ををららぶぶ血け脈ちををたたくくぐぐ。拍ひ姫ひめめををくくんんわわららぶぶ。拍ひ姫ひめめのの  
くくははくくししのの中ちううよよめめのの大お大おのの大お更しががささらら拍ひ姫ひめめよよををたたくくししるる



























